

グルッペ墨



線香花火
ほとりと落ちて
ほとりかな

自分の俳句、又は自分の好きな俳句に絵を添えます。俳句と絵が説明ではなく、お互いにつかず離れずの距離にあって、相手を盛り上げていくものが良いです。私達の俳画サークルは俳句を墨で書き、絵も墨で描くという仲間の集まりです。



靄深き
信濃追分
栗の花



小箱には
初恋色の
桜貝



神酒吹きかけ
鮓を
守る



初夏の
森に
子算の
声



かき氷
後の
塔を
眺める